

125か国・約2,000点の コインがせいぞろい

世界最大の砂の芸術「寛永通宝」(通称:銭形砂絵)で有名な香川県観音寺市。「世界のコイン館」はその銭形にちなんで1988年、瀬戸大橋開通の年に有志の市民たちによってつくられました。

日本のコイン



万延大判

江戸時代の大判・小判

最初に大判造ったのは豊臣秀吉です。江戸時代になると、それをモデルに製造されましたが、大判は通貨としてはなく、褒美や献上など贈答品として使用されました。



正徳小判

万延小判



一分銀

江戸時代末期に流通した銀貨で、明治時代まで使用していました。1両小判に対し、1/4両に相当しました。一分金と同額です。重量により貨幣価値の決まる秤量貨幣に対し、表に「一分銀」と刻印し、計数銀貨として完成しました。



日本で一番長く 使われたお金

江戸時代から明治初期まで約240年間庶民の通貨として使われ続けました。その種類は200以上にも及びます。1文銭と4文銭があり、銅、真鍮、鉄など素材も様々です。



日本の紙幣



新国立銀行券

アメリカで印刷された旧国立銀行券に替わり、日本で最初に製造・発行された紙幣。計画では8種類でしたが、実際は1円と5円の2種類が発行されました。



藩内だけで 通用した紙幣「藩札」

江戸時代、財政難でお金が不足してしまった藩は、その藩内だけで通用する「藩札」という紙幣を一時的にお金の代わりとして発行しました。



世界のコイン



約7.5cm(重さ1kg)

約10cm(重さ1kg)

世界最大級の金貨・銀貨



現代に 価値を受け継ぐ 石のお金

たいへん貴重な、ヤップ島の石貨。その価値は色や質だけでなく、その石のもつ物語で決まるとか。主に冠婚葬祭や土地の契約など、大事な時に使われています。



即墨刀幣

中国古代貨幣として、豊かな資源に恵まれた即墨市で今から約2300年前に使用されていました。

音楽家がモチーフのコイン



ヨハン・シュトラウス



ベートーベン



シューベルト



古代中国貨幣

中国では、今から約3000年前に貝が貨幣として使われていたので、貨幣の關係に貝の字が入っているといわれています。はじめは農具や刀など物の形をかたどった青銅貨ができ、秦の時代になると円形角穴になりました。



動物がモチーフのコイン

世界の紙幣



コインの他、世界中の紙幣も展示しています。中には、なかなか訪問することのない国のものや、珍しいデザインの紙幣もあります。

経済 小話



上の馬が描かれたコインは、1923年にドイツで発行された10,000マルクコインです。当時のドイツは、第一次世界大戦後による歴史的インフレーション(通貨膨張)で高額紙幣が次々と発行されました。この年、1月にはパン1個の値段が約250マルクだったのに対し、12月には約40億マルクにもなったそうです。